

独立行政法人 経済産業研究所(R I E T I)研究プロジェクト
「日本企業の R&D 国際化における組織・戦略的課題」
R&D 国際展開に関するアンケート調査
調 査 票

本調査は、日本企業の R&D 国際展開に関する最新動向及び、組織・戦略的側面における現状と課題についてお伺いしています。
それに基づきマネジメント上の有効な対応策を検討することを目的としています。

第 1 部では、海外 R&D 展開の戦略的意義と課題。

第 2 部では、海外 R&D 拠点の役割と位置づけ

第 3 部では、本社と海外 R&D 拠点がもつ交流関係

第 4 部では、海外 R&D 拠点の成果

第 5 部では、貴社 R&D 全般

なお、本調査では、「R&D」を、基礎研究、応用研究、革新的新製品開発、既存製品の現地適応、デザイン、システム開発といったものを幅広く含む研究開発活動と捉えています。従いまして、貴社の該当する活動を念頭においてお答えいただきたく存じます。

本調査に最後までご回答いただきました方には、集計結果がまとまり次第『調査結果の要約』および『ご希望の報告書（最後のページでお選びいただきます）』を電子メールにてお送りさせていただきます。

何卒ご回答のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【調査主体】

独立行政法人 経済産業研究所（R I E T I）

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 番 1 号

経済産業省別館 11 階

URL: <http://www.rieti.go.jp/>

研究代表者：浅川和宏

RIETI ファカルティフェロー／慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

第1部 海外R&D展開の戦略的意義と課題

貴社R&D活動の国際展開における戦略的意義と課題について、進出地域ごとにお伺いします。

1.1. 貴社の欧米先進国、アジア新興国へのR&D展開について、それぞれの程度メリットがありますか。「**欧米進出**」と「**アジア進出**」の場合について **a～f**のメリットについて、○を1つずつお付けください。

全く当てはまらない ← 2 3 4 → とてもよく当てはまる										
1	2				3				4	5
	欧米進出の場合					アジア進出の場合				
a	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
b	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
c	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
d	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
e	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
f	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

1.2. 貴社の欧米先進国、アジア新興国へのR&D展開について、それぞれの程度問題点がありますか。「**欧米進出**」と「**アジア進出**」の場合について **a～f**の問題点について、○を1つずつお付けください。

全く当てはまらない ← 2 3 4 → とてもよく当てはまる										
1	2				3				4	5
	欧米進出の場合					アジア進出の場合				
a	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
b	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
c	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
d	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
e	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
f	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

第2部 海外R&D拠点の役割と位置づけ

ここでは、本社と海外R&D拠点との関係についてお伺いします。「本社―現地」関係の特徴は各R&D拠点ごとに様々に異なっています。

ここでは、北米、欧州、アジア地域において、貴社が保有する最も代表的*な「研究（R）」もしくは「開発（D）」拠点を3つまでお選びいただき、下記スペースにその**名称**と**所在地**をお書きください。以下の質問では、これらの拠点についてお答えいただくことになります。

（*ここで「代表的」とは、厳密な意味ではございません。貴社の海外R&D拠点の中で最も典型的、もしくは特徴的なものをご自由にお選びいただきたく存じます。）

	拠点A	拠点B	拠点C
拠点名 (右にご記入ください)			
都市名 (右にご記入ください)			
地域 (○をつけてください)	北米 欧州 アジア	北米 欧州 アジア	北米 欧州 アジア
機能 (○をつけてください)	R D	R D	R D
設立方法 (○をつけてください)	独資 合資	独資 合資	独資 合資

註： RとDの区別は、おおよそ以下の分類を**目安**にお願いいたします。

R： 基礎研究、

D： 革新的新製品開発、既存製品の現地適応、デザイン、システム開発、など

以下の質問では、これらの拠点を念頭にお答えください。

2.1 以下の a～j の各項目について、どの程度本社主導もしくは海外 R & D 拠点主導で決定されているかについて、2 ページでお選びいただいた貴社各拠点ごとに、○をつけてお答えください（過去数年間の状況を目安に）。なお、正確な状況が不明な場合は、貴方様のご印象に最も当てはまるものをお選びください。

現地拠点が決める 1												本社サイドが決める 5				
		拠点 A					拠点 B					拠点 C				
a	現地拠点のプロジェクトの選定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
b	現地拠点の研究者・エンジニア採用の人選	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
c	現地拠点の研究者・エンジニアの勤務評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
d	現地拠点の研究者・エンジニアの昇進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
e	現地拠点の研究者・エンジニアの社外での研究発表の許可	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
f	現地拠点の研究者・エンジニアの社外での論文公刊の認可	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
g	現地拠点の社外からの研修生受け入れ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
h	現地拠点の社内他部門からの研修生受け入れ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
i	現地拠点の R & D 予算の決定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
j	現地拠点の外部機関とのコラボレーションの実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2.2 本社―海外R＆D拠点関係について、以下のa～eの各文の内容がどの程度あてはまるか、2ページでお選びいただいた貴社各拠点ごとに、それぞれ○を1つずつ付けてお答えください（過去数年間の状況を目安に）。なお、正確な状況が不明な場合は、貴方様のご印象に最も当てはまるものをお選びください。

← 全くそうでない →																極めてそのとおり					
1		2				3				4				5							
		拠点A					拠点B					拠点C									
a	本社サイドは海外拠点に対し十分な情報を流している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
b	本社サイドは海外拠点から十分な情報を得ている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
c	本社サイドの海外拠点に対する期待は明確に示されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
d	海外拠点経営陣は、貴社のR＆D全般に関する決定過程に参加できる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
e	本社R＆D経営陣は、海外拠点のR＆Dに関する決定過程に参加できる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					

第3部 本社と海外R&D拠点との交流関係について

3.1. 2ページでお選びいただいた各R&D拠点との間で、過去数年間にどの程度の交流があったかを、a～fについて、拠点ごとにそれぞれ○を1ずつ付けてお答えください。（なお、正確な状況が不明な場合は、貴方様のご印象に最も当てはまるものをお選びください。）

ほとんどない 1	←	2	3	4	→	極めて頻繁 5
-------------	---	---	---	---	---	------------

		拠点A					拠点B					拠点C				
a	本社と現地拠点との共同プロジェクト実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
b	現地拠点の研究者・エンジニアの本社への移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
c	本社の研究者・エンジニアの現地拠点への移動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
d	本社の技術・知識を現地拠点に移転	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
e	現地拠点発技術・知識を本社に移転	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
f	現地拠点発技術・知識を本社で活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

第4部 海外R&D拠点の成果について

ここでは、2 ページでお選びいただきました各拠点の**昨年度**の成果についてお伺いします。a～e について、拠点ごとに○を付けてお答えください。正確な状況が不明な場合は、貴方様のご印象に最も当てはまるものをお選びください。

		拠点A	拠点B	拠点C
a	スケジュールどおりに無事完了したプロジェクトの比率（昨年度）	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%
b	計画した目標をほぼ完全に達成したプロジェクトの比率（昨年度）	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%
c	ほぼ予算どおりに収まったプロジェクトの比率(昨年度)	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%
d	R&D本部から見たその拠点の成果達成度(昨年度)： 1. とても不満足 ——— 5. とても満足	1. とても不満足 2.  3. 4. 5. とても満足	1. とても不満足 2.  3. 4. 5. とても満足	1. とても不満足 2.  3. 4. 5. とても満足
e	その拠点の昨年度の特許登録数	約 件程度	約 件程度	約 件程度

第5部 貴社R&Dについて

ここでは、貴社R&Dの特徴についてお伺いいたします。以下の質問にどうぞお答えください。尚、正確な状況が不明な場合は、貴方様のご印象に最も当てはまるものをお選びください。

5.1. 貴社の海外R&D展開において、以下のa～iの文がどの程度だけあてはまりますか。それぞれ○を1つずつ付けてお答えください。

	全く当てはまらない	←	2	3	4	→	とてもよく当てはまる	5
--	-----------	---	---	---	---	---	------------	---

a	わが社の海外R&Dは、欧米からアジアへ、そのウェートをシフトしつつある。	1	2	3	4	5
b	わが社のR&D活動は、もはや国内のみでは限界がある。	1	2	3	4	5
c	わが社のR&D活動は、もはや自社のみでは限界がある。	1	2	3	4	5
d	わが社のR&D国際展開においては、現地拠点設立よりもアライアンスの方がより効率的である。	1	2	3	4	5
e	わが社のR&D能力向上のためには、アライアンスよりも現地拠点設立の方がより有効である。	1	2	3	4	5
f	現地知識・技術の獲得のためには、現地拠点設立よりも外部機関とのアライアンスの方が有効である。	1	2	3	4	5
g	わが社では、海外R&D拠点が無い地域でも、現地から研究員などの人材を採用している。	1	2	3	4	5
h	わが社では、海外R&D拠点が無い地域でも、現地大学との共同プロジェクトを推進している。	1	2	3	4	5
i	わが社では、海外R&D拠点が無い地域でも、現地サプライヤーとの協業を行っている。	1	2	3	4	5

5.2. 以下のA～Iの間の該当するものに○をお付けください。

A	貴社の主な産業 (複数回答可)	1. 化学 2. 医薬 3. 鉄鋼 4. 機械 5. 電気 6. 自動車（輸送用機器） 7. 精密 8. 通信 9. その他（具体的に ）
B	貴社 R&D 費の対売上高比率	1. 0～3%未満 2. 3%～6%未満 3. 6%～9%未満 4. 9%～12%未満 5. 12%以上～
C	貴社全従業員数に占める R&D 部門の職員比率	1. 0～5%未満 2. 5%～10%未満 3. 10%～15%未満 4. 15%～20%未満 5. 20%以上～
D	貴社全体の R&D 費に占める海外 R&D 費の比率	1. 0～3%未満 2. 3%～6%未満 3. 6%～9%未満 4. 9%～12%未満 5. 12%以上～

E	貴社全体で期間内に無事完了したプロジェクトの比率（昨年度）	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%
F	貴社全体で計画通りに進捗したプロジェクトの比率（昨年度）	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%
G	貴社全体で予算の枠内に収まったプロジェクトの比率（昨年度）	1. 0～20%未満 2. 20%～40%未満 3. 40%～60%未満 4. 60%～80%未満 5. 80%～100%
H	昨年度の貴社による特許登録件数（国内特許）	約 件
I	昨年度の貴社による特許登録件数（米国特許）	約 件

以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査のフィードバックについて：

最後までお答えくださいました方には、集計結果がまとまり次第、電子メールにて、本調査結果の要約版をお送りさせていただきます。ご希望の方は以下の欄にチェックし、下記に資料送付用の電子メールアドレスをお書きください。

☐ 本アンケート調査結果の要約版を希望します。

それに加え、グローバル・イノベーション経営に関する以下の報告書のうちご希望のもの1つをお送りいたします。下記よりひとつお選びください。

☐ Metanational learning in TFT-LCD industry (英語版)

☐ メタナショナル経営論からみた日本企業の課題：グローバルR＆Dマネジメントを中心に(日本語版)

資料送付先：

貴方様の電子メール			
お名前 (optional)		ご所属部署	
役職 (optional)		都市	